

■主要製品売上高

(単位 百万円)

品目名 有効成分・剤形	薬効分類	平成21年3月期		平成22年3月期	
		第2四半期 累計実績	通期実績	第2四半期 累計予想	通期予想
医療用医薬品		48,606 (1.5)	94,538 (△0.8)	49,721 (2.3)	99,526 (5.3)
クラビット点眼液 レボフロキサシン点眼液	合成抗菌点眼剤	7,008 (2.0)	12,443 (△3.3)	6,738 (△3.9)	12,802 (2.9)
タリビッド点眼液 オフロキサシン点眼液	合成抗菌点眼剤	1,451 (△20.6)	2,488 (△20.7)	1,430 (△1.4)	2,510 (0.9)
タブロス点眼液 タフルプロスト点眼液	緑内障治療剤	— —	1,058 —	1,964 —	4,818 (355.2)
チモプトール点眼液 チモロールマレイン酸塩点眼液	緑内障治療剤	1,741 (△7.3)	3,213 (△10.1)	1,580 (△9.2)	3,143 (△2.2)
チモプトールXE点眼液 チモロールマレイン酸塩持続性点眼液	緑内障治療剤	1,822 (4.3)	3,477 (1.3)	1,790 (△1.7)	3,560 (2.4)
デタントール点眼液 ブナゾシン塩酸塩点眼液	緑内障治療剤	1,182 (△1.1)	2,283 (△2.3)	1,062 (△10.1)	2,112 (△7.5)
レスキュラ点眼液 イソプロピル ウノプロストン点眼液	緑内障治療剤	2,308 (△8.7)	4,386 (△10.1)	1,748 (△24.3)	3,455 (△21.2)
リボスチン点眼液 レボカバスチン塩酸塩点眼液	抗アレルギー 点眼剤	1,390 (△5.5)	4,302 (△0.9)	1,674 (20.4)	3,809 (△11.5)
ヒアレイン点眼液 ヒアルロン酸ナトリウム点眼液	角膜疾患治療剤	10,539 (9.3)	20,030 (2.6)	10,568 (0.3)	21,399 (6.8)
フルメロン点眼液 フルオロメロン点眼液	抗炎症点眼剤	2,303 (△3.6)	4,671 (△3.1)	2,387 (3.6)	4,757 (1.9)
カリーユニ点眼液 ピレノキシ点眼液	初期老人性 白内障治療剤	1,852 (△1.4)	3,572 (△2.2)	1,950 (5.3)	3,855 (7.9)
オベガンハイ眼粘弾剤 ヒアルロン酸ナトリウム眼科手術補助剤	眼科手術補助剤	1,634 (0.2)	3,236 (1.0)	1,751 (7.2)	3,416 (5.5)
ビーエスエスプラス眼灌流液 オキシグルタチオン眼灌流・洗浄液	眼灌流・洗浄液	638 (△1.7)	1,241 (△2.0)	652 (2.2)	1,276 (2.8)
リマチル錠 ブシラミン錠	抗リウマチ剤	2,339 (△4.9)	4,539 (△4.8)	2,169 (△7.3)	4,333 (△4.5)
アザルフィジンEN錠 サラゾスルファピリジン腸溶錠	抗リウマチ剤	2,150 (3.0)	4,187 (1.6)	2,197 (2.2)	4,369 (4.3)
一般用医薬品		2,722 (△2.9)	5,225 (△4.1)	2,932 (7.7)	5,591 (7.0)

下段: 対前期伸長率(%)

※上記の予想等は、現在において入手可能な情報に基づいて作成しています。実際の業績等は、事業環境変化などにより、大きく結果が異なる可能性があります。

■ 医薬品開発状況一覧表(臨床段階)

一般名	製品名/コード 番号	効能・効果	自社/導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
レボフロキサシン(0.5%)	クラビット クイクシン オフトクイクス	外眼部感染症	第一三共	日本						2000年4月
				米国						2000年11月
				欧州						2002年5月
レボフロキサシン(1.5%)	DE-108	外眼部感染症	第一三共	日本						
ニューキノロン系抗菌薬。耐性制御を目的とした高濃度製剤。										
レボフロキサシン+プレドニゾンA	DE-094	感染による角膜炎	第一三共	米国						
ニューキノロン系抗菌薬のレボフロキサシンとステロイドの合剤。										

一般名	製品名/コード 番号	効能・効果	自社/導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
タフルプロスト	DE-085	緑内障・高眼圧症	旭硝子と共同	日本						2008年12月
				欧州						2008年6月
				米国						(導出)
				アジア*						2007年11月
プロスタグランジン系緑内障・高眼圧症治療剤。2008年12月、国内での販売開始。欧州では、ドイツ、デンマーク等で販売中。2009年4月米国の開発権をメルク社に許諾。韓国にて2007年11月販売承認申請。中国にてフェーズ3実施中。(*日本を除く)										

一般名	製品名/コード 番号	効能・効果	自社/導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
ジクアホソルナトリウム	DE-089	角結膜上皮障害 (ドライアイを含む)	インスパイア社	日本						2008年5月
角結膜上皮から涙液構成成分や水分の分泌を促す、主にドライアイに伴う角結膜上皮障害治療剤。既存薬との併用が可能。フェーズ3比較試験で所期の目的を達成でき、製造販売承認を申請。										

一般名	製品名/コード 番号	効能・効果	自社/導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
塩酸ロメリジン	DE-090	緑内障	シェリング・プラウ社	日本						
視野欠損の進行抑制作用を有する新しい緑内障治療剤。カルシウム拮抗作用に基づく経口緑内障薬としては、唯一の開発薬剤。NMDA受容体拮抗剤と異なり、全身性の副作用が軽微であり、高い安全性を有する。シェリング・プラウ社により片頭痛治療剤として上市済。										

一般名	製品名/コード 番号	効能・効果	自社/導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
リボグリタゾン	DE-101	角結膜上皮障害 (ドライアイを含む)	第一三共	米国						
				日本						
主にドライアイに伴う角結膜上皮障害に対する改善効果が期待できる。現在発売および開発中の薬剤と異なる作用機序を有し、角結膜上皮細胞に直接働きかける点眼薬。第一三共が経口糖尿病治療剤として日米で臨床試験中。										

一般名	製品名/コード 番号	効能・効果	自社/導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
未定	DE-102	糖尿病黄斑浮腫	オークウッド社と共同	日本		(フェーズ1/2)				
ドラッグデリバリーシステムの概念を取り入れたステロイドマイクロスフェア製剤。研究段階では眼局所への投与により長く安定した薬効持続性が確認できている。商業用スケールでの製造技術開発で米国オークウッド社と提携。										

一般名	製品名/コード 番号	効能・効果	自社/導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
未定	DE-104	緑内障・高眼圧症	宇部興産と共同	米国		(フェーズ1/2)				
				日本						
宇部興産との共同研究で見出したROCK阻害活性を有する緑内障・高眼圧症治療剤で、既存の薬剤と異なる作用機序を持つ。線維柱帯細胞に直接作用し房水流出を促進すると考えられ、強力な眼圧下降作用が期待される。										

一般名	製品名/コード 番号	効能・効果	自社/導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
未定	DE-105	遷延性角膜上皮欠損	自社	米国						
既存療法では難治性の遷延性角膜上皮欠損に対し、角膜上皮細胞進展促進作用により、角膜上皮欠損を修復する効果と高い安全性が期待される。										

一般名	製品名/コード 番号	効能・効果	自社/導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
シロリムス	DE-109	滲出型加齢黄斑変性 糖尿病黄斑浮腫	マキュサイト社	日本		(フェーズ1/2)				
免疫抑制作用、血管新生抑制作用などを有する結膜下注射および硝子体内注射剤。マキュサイト社が実施した滲出型加齢黄斑変性および糖尿病黄斑浮腫患者を対象とした米国でのフェーズ1試験において、網膜の形態的改善を伴う視力改善を示す症例が認められている。日本を含むアジアでの眼科疾患を対象とした開発および販売実施権をマキュサイト社より取得。										

■医薬品開発状況一覧表(臨床準備中 一部抜粋)

一般名	製品名	効能・効果	自社／導入等
ブシラミン	リマチル	変形性関節症	自社

OAによる関節炎症への効果を確認。

■他社への開発導出品 状況一覧

一般名／コード番号	効能・効果	導出先	開発ステージ	導入元
未定／DE-098(抗APO-1抗体)	関節リウマチ	Argenes社	フェーズ1／フェーズ2	セントコア社

RA患者の罹病関節内でアポトーシスを誘導する関節注入剤。実生産規模での原薬製造工程を確立。当社がセントコア社から導入した抗APO-1抗体の国内開発権をArgenes社に許諾。日本および欧州にて治験実施中。国内販売権および海外開発販売権は当社が保有。

■平成21年3月期 第3四半期(平成21年2月5日)発表時からの変更点

【開発ステージ変更】

コード番号	効能・効果	開発ステージ	実施地域
DE-104	緑内障・高眼圧症	フェーズ2 → フェーズ1/フェーズ2	米国
DE-109	滲出型加齢黄斑変性 糖尿病黄斑浮腫	臨床準備中 → フェーズ1/フェーズ2	日本

【導出(開発権許諾)】

一般名	効能・効果	導出先	開発ステージ	実施地域
タフルプロスト	緑内障・高眼圧症	メルク社	フェーズ3*	米国

\*参天製薬のフェーズ3試験実施済

## ■設備投資

(単位 百万円)

	平成21年3月期		平成22年3月期	
	第2四半期 累計実績	通期実績	第2四半期 累計予想	通期予想
設備投資額	1,005	2,744	1,170	1,830

## ■減価償却費

(単位 百万円)

	平成21年3月期		平成22年3月期	
	第2四半期 累計実績	通期実績	第2四半期 累計予想	通期予想
総 額	1,645	3,391	1,650	3,410
製造経費	898	1,822	840	1,740
販売管理費	323	622	290	610
研究開発費	423	946	520	1,060

(注) 長期前払費用および営業権の償却費は除いています。

## ■リース料

(単位 百万円)

	平成21年3月期		平成22年3月期	
	第2四半期 累計実績	通期実績	第2四半期 累計予想	通期予想
総 額	485	931	330	520
製造経費	431	821	290	430

## ■研究開発費

(単位 百万円)

	平成21年3月期		平成22年3月期	
	第2四半期 累計実績	通期実績	第2四半期 累計予想	通期予想
研究開発費	11,832	18,457	7,800	15,300
対売上高比	22.7%	18.2%	13.7%	13.8%

※上記の予想等は、現在において入手可能な情報に基づいて作成しています。実際の業績等は、事業環境変化などにより、大きく結果が異なる可能性があります。